さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

境川 墳丘全体が出土

古墳時代終末期に築造か

県埋蔵文化財センターが発掘調査した笛吹市境川町石橋の石橋氏屋敷跡・先屋敷古墳群で、全長約30㍍と、それに連なる約9㍍の円墳2基が見つかった。いずれも古墳時代終末期の7世紀後半に築造されたとみられ、境川地域でこの時期に造られた古墳が出土するのは初めて。特に約9㍍の2号墳は墳丘全体が出土していて、同センターは「古墳構造の全てが分かる調査はあまりなく、貴重な事例」としている。

〈田辺彩子〉

調査したのは境川右岸に位置するリニア中央新幹線本線の建設予定地で、約700平方㍍を発掘した。墳丘の全体が明らかになった2号墳では1㍍幅の周溝のほか、石室があった場所で人骨の一部も確認された。同センターによると、他の地域の古墳と比べ、構成石材の量が多い。石室からは鉄刀のほか、平安時代の墨書土器も見つかり、古墳が古墳時代と平安時代にかけて2回使われたことが確実だという。

一方、1号墳は約30㍍と大型で、古墳群の中でも規模や内容が突出した盟主墳とみられる。調査では葬送儀礼を行う前庭部と3㍍幅の周溝の一部が出土し、前庭部からは須恵器の破片約100点が見つかっている。

これまで境川地域で確認された古墳で最も新しいのは600年頃のものだった。調査を担当した内田祥一さんは「（今回見つかった）古墳の平面の石材の構成を他の時代の古墳と比較していく」と話している。

一方、先屋敷古墳群の近くでは昨年12月末から古墳時代終末期から平安時代の集落跡「毘沙門遺跡」の発掘も進んでいて、今月8日にそれぞれ現地説明会が開かれる。石橋氏屋敷跡・先屋敷古墳群は午前10時半と午後1時半から、毘沙門遺跡は午後1時半から。詳細は同センターのホームページから。

（2025 年 2 月 7 日付 山梨日日新聞 20 面）

先屋敷古墳群で発掘された２号墳
＝笛吹市境川町石橋

先屋敷古墳群の２号墳で出土した平安時代の墨書土器（左）

問1 発掘調査で円墳2基が見つかりました。

その場所を答えてください。

……市……町……の

……

問2 古墳が古墳時代だけでなく、平安時代にかけても使われたことが確実という根拠を答えてください。

……

問3 古墳時代終末期から平安時代の集落跡の名称を答えてください。

……

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.